

4. 利用者の便益

「便益の総量」で比較考量すべき。

● 利用者便益

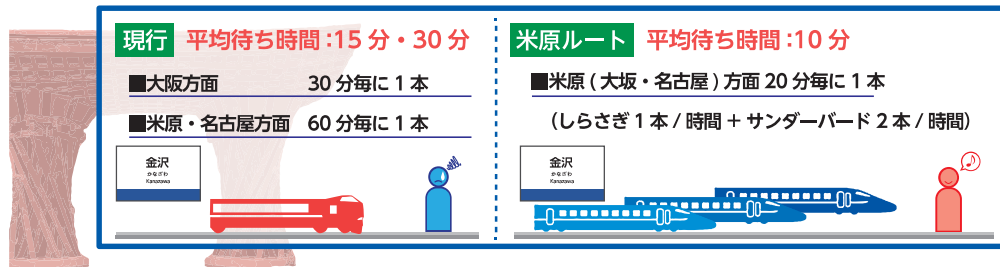
利用者便益の大半は、移動時間の短縮による便益。**P7資料(左下)** 従って、利用者便益は概ね以下の式で表すことができる。

$$\text{鉄道利用者の便益} \doteq \text{①時間短縮効果} \times \text{②利用見込み者数}$$

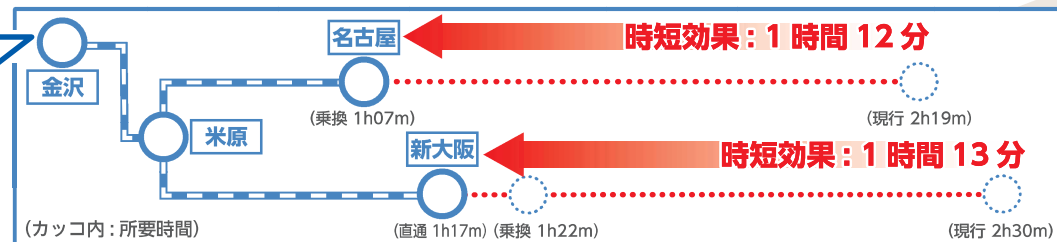
① 米原ルートによる時間短縮効果

乗車時間の短縮に加え期待所要時間（平均待ち時間）も考慮すべきではないか。

● 金沢駅での期待所要時間（平均待ち時間）



● 乗車時間の短縮効果



② 利用見込み者数（リニア効果も重視）

北陸新幹線金沢～敦賀間着工時に実施した需要予測（北陸新幹線敦賀開業後）によると、北陸～関西: 14,400人/日、北陸～中京・関東: 6,900人/日。**P7資料(右下)**

リニア中央新幹線（東京～名古屋間）の開業を需要予測に織り込むべき。

